



志津南 news

志津南ホームページ
<http://shizu373.net>

発行
志津南学区まちづくり協議会
(事務局) 077-507-6496

小牧市自治会関係者が来訪 まち協の取り組みなど視察

愛知県小牧市の区長会の関係者85名の方々が11月14日、15日の2日間、志津南学区まちづくり協議会を訪れ、組織運営や取り組みなどについて視察研修しました。写真。

小牧市では自治会のことを区と称していて、区長会というのは自治会長会(町内会長会)に相当します。小牧市全体で128区あり、今までは小学校区単位の組織がなく、今後、小学校区単位で区を初め各種団体も包含した「地域協議会」の設立をめざしており、その



実情視察の一環として当学区を選んだものです。1日目は志津南市民センターで、草津市まちづくり協議会の職員が草津市のまちづくり協議会への取り組みについて説明しました。

まち協だより

第6回理事会 (平成26年11月1日)

- ① 平成27年1月の理事会は第2土曜日の10日に開催する。各町内会役員会、各団体・委員会、グループ会議のそれぞれの日程も1週間繰り下げとなる。
- ② 若草地区の「ゾーン30」の路側帯とハンブの設置工事が始まる。ハンブは、滋賀銀行横の道路に、高さ5cm幅90cmのものを2本設置する。
- ③ 地域史誌「志津南のあゆみ」の製作については製作委員会を立ち上げて進めることとする。委員は、住民の皆さんから、編集作業の経験者や興味のある方を募集する。
- ④ 地域支え合い送迎支援活動を始めて2か月経過し、実施要領を実態に即した内容に改正することにした。



志津南市民センター(公民館)は11月29日、同センターの消防訓練と一斉清掃を行いました。写真。

市民センターで消防訓練

湖南消防本部南消防署の指導のもと、昨年と同様シナリオなしの消防訓練では、思いもよらない和室の押入れより出火を想定した避難訓練を行う予定でしたが、雨のため、消火器の使い方や心構えを聞きました。

引き続き行われた一斉清掃では、同センターを利用するサークルや地域団体の皆さんが協力し、日ごろの届かない隅々までを丁寧に清掃しました。参加いただいた皆さん、お疲れ様でした。

このあと、翌日のふれあいハウス絆の訪問に備えて小野社会福祉協議会長から

これまでの取り組み、経緯についての説明があり、予定時間をオーバーして終了しました。2日目は午前中に、3班に分かれてふれあいハウス絆を訪れ、具体的な活動状況の説明と活発な質疑応答がありました。うらやましそうな声が多数聞かれ、また絆スタッフのあたたかいもてなしを受けて、有意義な研修になったと、喜んでいただきました。

来月12日に左義長

志津南学区まちづくり協議会は恒例の左義長を平成27年1月12日午前9時30分から11時30分まで若草中央児童遊園で行います。

お正月のお飾りや、お札類、お子さんの書初めなどを焼きます。

ただし、お飾りのみかんやビニール袋、一般ごみなどは持ち込まないようお願いします。

年末年始の休館

志津南市民センター(公民館)は、12月28日(日)から27年1月4日(日)まで休館します。

資源回収

- 12月21日・1月4日 若草一丁目〜五丁目
- 12月28日・1月11日 若草六丁目〜八丁目
- 12月27日・1月10日 岡本町西
- かがやきの丘
- 回収品
- 古新聞(チラシも可)
- 古雑誌・段ボール・古着

☆朝9時までに自宅前へ

平和祈念講演会に100人

命の重み、大切さかみしめる



写真家・ジャーナリストの國森康弘さんを招いての「平和祈念講演」が11月15日、志津南市民センターで開催されました。志津南区社会福祉協議会が主催した。

東日本大震災の被災者たちの写真では、助かった命の中でも骨肉腫と診断された余命を宣告された息子さんが亡くなる前にお母さんと撮った写真は笑顔で、とてもやさしい顔でした。寝たきりになったおじいちゃんに自信をなくしているおばあちゃんを助けたのは地域の方たちでした。介護保険で見てもらえる範囲は決まっています。それ以外を地域の方たちが助け、自宅で看取る事ができました。イラクの子どもの写真は栄養失調・爆弾で手足がなくなった姿。「悲しい死」です。

一方、東近江では、死期間近と思われたおばあちゃんが孫の顔をみて、孫を抱っこしたい、という一心から

もやさしい顔でした。寝たきりになったおじいちゃんに自信をなくしているおばあちゃんを助けたのは地域の方たちでした。介護保険で見てもらえる範囲は決まっています。それ以外を地域の方たちが助け、自宅で看取る事ができました。イラクの子どもの写真は栄養失調・爆弾で手足がなくなった姿。「悲しい死」です。

一方、東近江では、死期間近と思われたおばあちゃんが孫の顔をみて、孫を抱っこしたい、という一心から

座って抱っこができるまで元気になった例も紹介されました。

また、子どもがお腹にいるときに染色体異常がわかり死を覚悟したお父さん、お母さんが國森さんに生まれて3日で亡くなった「命」

を撮って欲しいと依頼したそうです。

講演会に参加した約100人には、命の重みや命が引き継がれていく事の大切さ、家族のあり方や地域のあり方を改めて考える機会になりました。

収穫祭を祝う



「お米洗いは水を流すときお米を流さないように手で受けること」と一粒のお米の大切さを伝えました。

おにぎり作りでは「三角むすびがむすかしい」と言いながら一生懸命作り上げました。塩加減も上々で自分たちでにぎったおにぎりは最高においしかったようです。

また、食育講座では「赤」「緑」「黄」のパネルを使いバランス良く栄養を取るための食品の働きを分かってもらいました。

収穫祭の第二部では、田植えから稲刈りまでお米作りをご指導いただいた山本さんをはじめ、日頃お世話にな

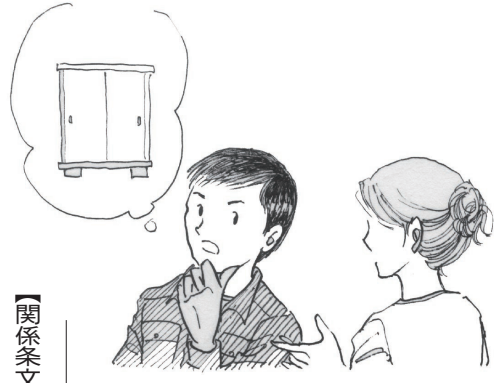
町並み保存委員会から

庭の改修・倉庫の新設

お母さん お父さん、定年です。長年ご苦労様でした。

お父さん これからは、私の好きな庭いじりがたっぷり出来るな。思い切って、庭を全面改装するよ。そうだ。道具や肥料などを入れる倉庫も必要だな。

お母さん ご近所で聞いたけど、若草地区は、倉庫を建てたり植木などを伐採したりすると、届出がいるよ。です。



お父さん 本当か。大工ゼンターで売っている小さいものでも要るのかな。町並

【関係条文】
地区計画の地区整備計画
建築物等の用途制限(5)
壁面の位置の制限および建築物の緑化率による。

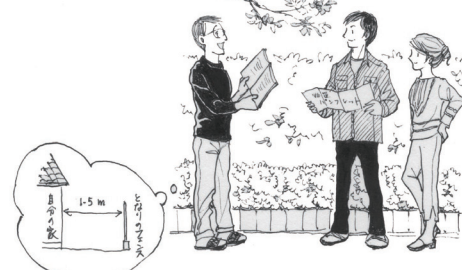
み保存委員でもある副会長さん聞いてみるよ。

副会長 若草地区には、良好な町並みを保つために地区計画が定められていて、小さい倉庫でも、また植木の伐採がある場合でも届出が必要なんです。特に、倉庫の場合敷地境界線側に建てる場合は、注意が必要です。壁面後退線(1.5m)が決まっています。建てられない場合があります。

詳しくは、私ども町並み保存委員にお尋ねください。

お父さん 分かりました。具体的になったら相談に行きます。

若草地区町並み保存規則
基準の1②、1①、1③による。
・移動可能な物置(既製品)の場合、隣地境界1つばいに設けてもよいが、幅の合計は1つの境界面に対して2.7m以下とする。
・角地でやむをえない場合以外は、道路側には設置しないものとする。



「赤」「緑」「黄」のパネルを使いバランス良く栄養を取るための食品の働きを分かってもらいました。

収穫祭の第二部では、田植えから稲刈りまでお米作りをご指導いただいた山本さんをはじめ、日頃お世話にな





冬の日暮れは早い。日が傾くとたちまち暮色に染まる。葉を落とした公園の樹木が青空の残る夕空に鮮やかなシルエットを描く。この、いささか幻想的な情景に、残り少なくなった一年を振り返ったり、自らの過去を重ね合わせる人がいるのではないか。そんな感傷的な気にさせる風景ではある。世間は総選挙でかまびすしいというのに、それこそ感傷的に過ぎる、と笑われそうだが…。



みなくさまつりにぎわう

まち協恒例のたこ焼き大人気

今年で第4回となる「みなくさまつり」が11月16日、JR南草津駅西口特設会場を中心に、参加者を「縁」でつなぎ、子育て・教育・安全のまちづくりに対しお互いが助け合う援助・応援の「援」の心もち「円」のように住民全てが輪になつてほしいとの思いを込



めて「えんてつなぐみなみくさつ」をテーマに盛大に開催されました。写真。

ステージでは市内で活動している立命館大学の応援団や音楽関連の発表など盛り沢山のプログラムが用意され、トリにはゲストのミュージシャン「カズン」が出演、多くの観客から大きな拍手が送られました。

ほかに鉄道展、スイーツグランプリなど盛り沢山のイベントが催されました。

の催しがありましたが、志津南学区まちづくり協議会は、地域ブースに「たこ焼き」を出店、外はカリッと中はフワッと焼きあがった「たこ焼き」は大人気で、用意した400食あまりは終了予定の午後4時どころか午後1時ごろには完売してしましました。

店舗にはまちづくり協議会の中原会長はじめ理事の方々が激励に訪れ、なかに

は疲労回復にと栄養ドリンクの差し入れなどもありました。

今回も6月の立命館記念行事と同じく、ボランティアの方々や、ふれあい推進委員会の全メンバー（各町

障害者問題で講演会



者も障害者の範囲に入っている、障害者は生活、社会環境、経済面で困った状態に置かれていると指摘、また障害者や家族は、社会から孤立しがちなので「安心して暮らせる場がほしい」と願っていると解説しました。

内会副会長、事務局）のご協力のもと、スムーズな運営ができました。

ご協力、本当にありがとうございました。

（ふれあい推進委員会委員長 藤本佳博）

第1回人権講座

志津南学区人権教育推進委員会（藤原忍委員長）は11月22日、人権啓発・学習活動として志津南市民センターで講演会を開催しました。写真。

今回は、障害者問題を取り上げ、「障がい者のいまこれから」市民のみなさまへ」と題して、NPO草津手をつなぐ育成会理事長の三木敏至さんが講演、53名の参加者は資料や映像を見ながら熱心に話を聞きま

した。

三木さんは、障害とは身体障害、知的障害、精神障害に加え、今では、難病患

志津南市民センターは11月8日、滋賀県男女共同参画センターG・NETしが推進員の阿部美智子さんを講師に迎え「人生100年時代を生きる私たち このまち（地域）でいつまでもいきいき暮らしたい」元気に・楽しく・自分らしく」と題した第1回人権講座を同センターで開催しました。写真。

阿部さんは高校教師、消費生活相談員を経たのち、30年にわたり市民活動に尽力、NPO法人アンダンテ参画21代表として活動されています。

阿部さんは自身の体験や家族の話などをまじえアンダンテ参画21の事業内容を説明、安心して暮らしていくためには、からだ・くらし・こころ・地域の支えが必要であると訴えました。

参加者からは、「今後の生涯生活に生かしたい」「エネルギーで元気ができました」との感想が寄せられました。



草津市でも今年度に障害者の置かれている状況を実態調査、対策を立案する予定だと行政の取り組みを紹介しました。

さらに三木さんは、特に災害時要援護者支援として、町内会への「自主防災組織事業補助金」などを活用して要援護者の救出訓練を実施してほしいと要望、さらにグループホームの建設についても市民に理解をいただき、地元としても障害者が住みよいまちづくりを進めていただきたいと訴えました。

こよみ

- 12月17日(水)
 - ★ やすらぎ学級 13:30~17:00
- 12月20日(土)
 - ☆ 健康ウォーキング(若寿会) 8:45 若草中央公園集合
- 12月27日(土)
 - ☆ 社会奉仕 8:30 若草中央公園集合
- 1月3日(土)
 - ☆ 健康ウォーキング(若寿会) 8:45 若草中央公園集合
- 1月9日(金)
 - ★ ふれあい昼食会 12:00~13:00
ボランティア「泉」
- 1月10日(土)
 - ★ 子ども会書初め大会 9:00~11:00
 - ★ 子ども会書初め展示会 1月10日~22日 15:00まで
- 1月12日(月・祝)
 - ☆ 左義長 10:00~11:00
若草中央公園
- 毎週金曜日
 - ☆ ふれあい喫茶(お茶の間) 10:00~12:00
五丁目集会所

★印の場所は志津南市民センター(公民館)です

交通安全講座

市内各地で交通安全教室を開催している草津市役所を、交通安全課わかばチームを迎えて志津南やすらぎ学級第6回講座「守ろうわが身と交通ルール」が11月26日、志津南市民センターで行われ、学級生30人が参加しました。写真。

腹話術人形の「けんちゃん」、わかばチームリーダーの扮する「かれんちゃん」らが、道を横断する時は斜めに渡らないことや、自転車は人が乗ったときは車両で左側通行すること、一旦停止が重要であることなど、事故にあわない工夫を映像を使用し、交通安全を分かりやすく訴えるとともに、



夜間に車のドライバーが歩行者を見つけやすくする反

射板を配布しました。後半は草津・栗東交通安全協会志津南支部長の佐々木奉昭さんのオカリナ演奏もあり、盛りだくさんの内容となりました。学級生からは「もっと堅苦しい話かと思っていたけれど、分かりやすくよかったです」などの感想が聞かれました。

グラウンドゴルフ大会

11月26日、志津南やすらぎ学級スポレクサークルが中心となって、サロンにクリスマスツリーを飾り付きました。サロンが華やいだ雰囲気になり、クリスマス気分を盛り上げています。



志津南学区社会福祉協議会は11月8日、若草中央公園でグラウンドゴルフ大会を開催しました。写真。

雨で一週間延期されましたが、当日は穏やかな日差しの中49名の参加者が11組に分かれて技を競いあいました。初めての方も、ベテランの方の指導を受けながら、時



- には歓声をあげ全員が競技を楽しんでいました。成績は次の通りです。
- ▽団体戦
 - 優勝 6丁目
 - 準優勝 1丁目
 - 3位 4丁目
 - ▽個人戦
 - 優勝 小山英明さん (1丁目)
 - 準優勝 川井堅三さん (6丁目)
 - 3位 早川 蔭さん (6丁目)

- 4位 降矢義夫さん (1丁目)
 - 5位 川崎三郎さん (8丁目)
- 来年1月22日にシニアのつどい
- 志津南市民センター(公民館)は、来年1月の「志津南シニアのつどい」で「相続税」の話と、新春初笑い「落語会」を二部構成で開催します。詳しくは同センター

- 1に置いてあるチラシ等をご覧ください。
- 日時 平成27年1月22日(木) 午前10時30分から
- 場所 志津南市民センター 1大会議室
- 対象 市内在住・在勤60歳以上の方
- 定員 60名
- 参加費 無料
- 申し込みは志津南市民センター 電話(563)6206まで。

折々の記



夏が来たら冬がいいと言いい、冬になれば夏まつりがいいと言っ。
肥えればやせたいと言いい、やせれば肥りたいと言っ。
忙しければひまになりたいいと言いい、ひまになれば忙しい方がいいと言っ。
自分に都合がいい人を、良い人だ良い人だとほめ、自分に都合が悪ければ悪い

やつだとけなす。
人間はもともと得手勝手なもの、だが、こいつが過ぎたら鼻もちならぬ高慢心となり、独善排他のわがままの根性となる。
借りた傘も、雨が上がったら邪魔、金を持ったら、古びた女房は邪魔、所帯を持った親の情けもあればこそ、この世の人となる。
だれもかれも、どこもかしこもかさかさ乾ききった味気のないこの頃、昔の人情にしっかりと濡れてみたい。「俺が俺が」を捨てて、「おかげおかげ」で暮らしたい。

衣食住は、昔に比べれば天国だが、上を見ては不満の明け暮れだ。
隣をながめては愚痴ばかり。なんで自分を見つめないのか、静かに考えてみるがいい。
一体自分で何だろう。親のおかげ、先世のおかげ、世間様のおかげのかたまりが自分じゃないか。
つまらぬ自我、妄執を捨てて得手勝手をつつしんだら、世の中はきつと明るくなるだろう。
「おれがおれが」を捨てて、「おかげおかげ」で暮らしたい。
(O・Y)